

発行日：2024.7.1

対象期間：2023.6～2024.5

エコアクション21

環境経営レポート2023



エコアクション21[®]
認証番号 0012468



みなさまの生活とともに
創業108年



青木建設株式会社

目次

I. ご挨拶	1
II. 組織の概要	2
III. わが社のこと	3
IV. 対象範囲と実施体制	8
V. 環境経営方針	9
VI. 環境経営目標	10
VII. 環境経営計画	11
VIII. 環境経営目標の実績	12
IX. 環境経営計画の取組結果と その評価・今後の取組内容	13
X. 環境関連法規等の遵守状況の確認 及び評価の結果並びに違反・訴訟等の有無	14
XI. 今後の取組内容	15
XII. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果	17

皆様に支えられて100年超

佐賀県唐津市で建設業を営んでおります

青木建設株式会社 と申します。

みなさまの生活と共に

をモットーに100年以上を歩んで参りました。

日ごろの生活をより良くしていただくた

め、皆様の生活と隣り合わせでがんばって

おります。

時には、ご近所の方からの急なSOSに対

応させて頂くこともありました。思い返せ

ば、すべてが皆様の笑顔と共にあります。

これからも、社員一丸となり我々のできる

ことを模索し精進して参ります。



青木建設株式会社

代表取締役

青木 浩彦

Ⅱ. 組織の概要

1. 事業所名 青木建設株式会社
2. 代表者名 代表取締役 青木浩彦
3. 所在地 本社 〒847-0023 佐賀県唐津市半田 1 5 3
資材置場 〒847-0022 佐賀県唐津市鏡字高柳 430番2 他3筆
4. 事業内容 許可番号
佐賀県知事 許可 (般-29) 第 1320 号
許可の有効期限
2022年10月16日から2027年10月15日 まで
建設業の種類
土木工事業 とび・土工工事業 管工事業 舗装工事業
塗装工事業 水道施設工事業 解体工事業 しゅんせつ工事業
5. 資本金 10百万円
6. 事業年度 6月1日～翌年5月31日
7. 事業の規模 2023年度売上高 238百万円
従業員数 14名
8. 環境管理責任者名 青木 茂
連絡担当者 青木 あずさ
連絡先
TEL 0955-77-0860
FAX 0955-77-3803
E-mail aokikensetu@abelia.ocn.ne.jp

技術の蓄積・継承をし続け

おかげさまで **創業108年**

その歴史のうえで施工した工事は数知れず、優良と認められ
表彰して頂いた工事も多くあります



これらの賞状は社員の技術・努力の証です



令和3年度優良工事



令和元年度優良工事



令和元年度優良工事



令和4年度優良工事



令和5年度優良工事

豪雨による災害が多発…そして復旧！
より一層強い唐津へ！！
わが社も貢献させて頂いております。



唐津の美しい海を守る一斉の清掃活動 「ラブアース・クリーンアップ」



木くずに混ざった粉々になったプラスチックごみ。
海をこえてこんなにたくさんやってきたのかと思うとおそろしい...
ゴミ処理の意識の大切さを再認識させられた活動となりました。

事前準備！土のう作成



水災害が多い地域のため、事前の土のう作り★
災害を最小限に...と願いを込めながらみんなで作業中です！！

工事施工時の社会貢献活動

舗装下の空洞を埋め、危険を回避！



before



after

農繁期に備え、数力所の水路の土砂を撤去！！



港工事施工の際は海のごみ拾いを実施☆



ごみがプカプカ
浮いていました

若年層の建設離れにSTOP！！

地元高校生のインターンシップ活動



トランシットを使用した測量
を实践！！

A君：気泡管に入れるのがむず
かしかったです。



廃棄物管理所を見学しました

B君：1つ1つが各場所に分
けられていました。

**3日間にわたり、自社施工現場見学や路
線名の検索作業 など経験してもらい
最後の日...**



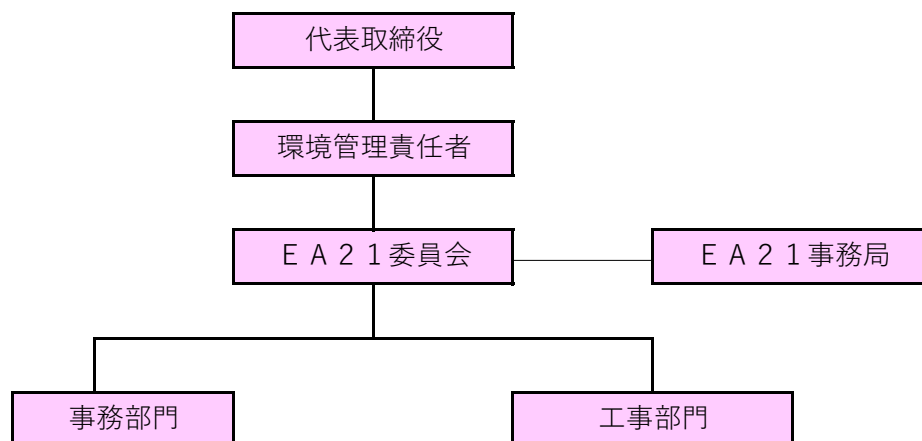
社長と反省会しました！

C君：道路をつくるのにも、伐
採するのも毎日コツコツと積
み上げていくものだという事
を学びました。お仕事を頑張
る姿はとてもかっこよかったです。

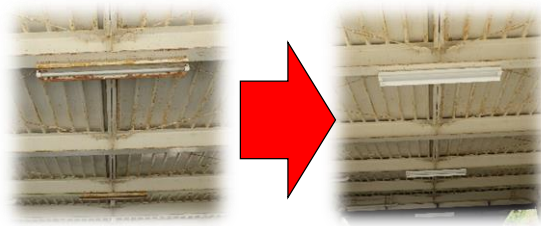
とてもうれしい感想をいただきました ✨

IV. 対象範囲と実施体制

1. 対象範囲 青木建設株式会社 本社、資材置場
2. 対象活動 土木工事業、とび・土工工事業、管工事業、舗装工事業、水道施設工事業、解体工事業
3. 実施体制（全社員計１４名）



EA21活動の一部を紹介します



徐々にLEDライトへ交換中

EA21緊急事態に備えた訓練の様子



エアコンをつける時期は目安を表示

[illegible]

計画を貼りだし全員参加の活動!!

V. 環境経営方針

●環境経営理念

私たち、青木建設株式会社は みなさまの生活とともに をモットーに、地域の道路や河川を手がける土木工事、水道や管を手がける設備工事等の生活のインフラ整備を行い、100年以上歩んで参りました。事業を行うに当たっては、地球環境保全・改善の重要性を認識し、自然の恩恵を継承・持続することを課題として、地球環境への負荷軽減に向け、建設工事を通じて社会に貢献して参ります。

●環境行動指針

当社の環境経営理念に基づき深刻化する環境問題への対応を建設会社を経営していく中での1本の柱とすることで、より良い環境を次世代に引き継ぐことを目指し、以下の事項について自主的、積極的、継続的に取り組みます。

1. 当社の事業に関連する環境関連法規等を遵守します。
2. 次の事項の環境目標を設定し、計画的に取り組みます。
 - ① 電力・燃料の省エネルギーに努め、二酸化炭素排出量を削減します。
 - ② 廃棄物排出量の削減、及びリサイクルを促進します。
 - ③ 水資源の節約に努めます。
 - ④ グリーン購入を推進します。
 - ⑤ 工事点数の「良」(80点以上)の獲得を推進します。
3. 整理整頓を徹底することで資源や時間の無駄を省き、業務効率化を推進します。
4. 当社の環境経営レポートを全社員に周知し一般にも公表します。

制定日 2017年 12月 25日

改定日 2021年 11月 1日

青木建設株式会社

代表取締役 青木浩彦

VI. 環境経営目標

- ・当社の事業活動特性を踏まえ、環境経営目標として以下の5項目を設定しました。
(なお、化学物質については、使用実績がないため目標から除外しております)
- ・当社の主要な環境負荷である二酸化炭素排出量、廃棄物排出量については、2019年度～2021年度実績平均値を基準に、毎年1%ずつ削減し、2026年度までに4%削減を目指します。
また、水資源節約・グリーン購入を推進し、工事点数の「良」の獲得に努めていきます。

環境目標	サイト 区分	単位	基準値	目標				
			2019年度～ 2021年度 実績平均値	2023年度 【1%削減】	2024年度 【2%削減】	2025年度 【3%削減】	2026年度 【4%削減】	
			2019年6月 ～2022年5月	2023年6月 ～2024年5月	2024年6月 ～2025年5月	2025年6月 ～2026年5月	2026年6月 ～2027年5月	
1.二酸化炭素排出量の削減	共通	kg-CO ₂	98,180	97,203	96,222	95,239	94,258	
(1)電力使用量の削減	事務所	kWh	19,819	19,628	19,429	18,979	18,781	
(2)ガソリン使用量の削減	共通	L	9,106	9,021	8,930	8,839	8,748	
(3)軽油使用量の削減	現場	L	26,301	26,043	25,780	25,519	25,253	
2.廃棄物排出量の削減								
(1)一般廃棄物排出量の削減	共通	kg	152	151	149	148	146	
(2)産業廃棄物の リサイクル率向上	現場	%	98	98	98	98	98	
3 水資源節約の推進	事務所	—	—	水使用量を把握した上で節水活動に努める				
4 グリーン購入の推進	共通	—	—	物品の品質等を把握した上でグリーン購入に努める				
5 工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進	現場	点	80	80	80	80	80	

備考）・購入電力の二酸化炭素排出係数は、0.392kg-CO₂/kWh（九州電力2021年度調整後）を使用した。

- ・【 】内の数値は、基準値（2019年～2021年度実績値平均）に対する削減率を示す。
- ・サイト区分の共通とは、事務所＋現場を示す。
- ・化学物質は使用実績がないため、目標から除外した。

VII. 環境経営計画

・環境経営目標を達成するため、以下の具体的な活動項目を設定し、全社員で環境への取組を行いました。

環境経営目標項目	サイト 区分	達成手段(活動項目)	スケジュール
1.二酸化炭素排出量の削減			
(1)電力使用量の削減	事務所	空調温度管理の実施（室内温度：夏季26度、冬季20度）	冷房期：7～9月 暖房期：11～3月
	事務所	エアコンのフィルターの定期的な清掃	通年
	事務所	未使用時の室内消灯	エアコン使用時は毎月実施
(2)ガソリン使用量の削減	共通	アイドリング・ストップを励行する	通年
	共通	急発進・急加速・急減速の禁止	通年
	共通	走行ルート of 適切化	通年
	共通	車間距離を保つ	通年
(3)軽油使用量の削減	現場	旋回角度を小さくする（BH）	通年
	現場	エンジン回転は可能な範囲で低めにする（BH、DT）	通年
	現場	アイドリング・ストップを励行する（BH、DT）	通年
	現場	一定速度の走行をする（DT）	通年
	現場	シフトアップは早め、シフトダウンは遅めにする（DT）	通年
	現場	急発進・急加速・急減速の禁止（DT）	通年
	現場	走行ルート of 適切化（DT）	通年
	現場	不要な荷物は積まない（DT）	通年
	現場	車間距離を保つ（DT）	通年
2.廃棄物排出量の削減			
(1)一般廃棄物排出量の削減	事務所	裏紙の使用、両面印刷の推進	通年
	事務所	分別、リサイクル、再資源化の推進	通年
(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	土場の保守・点検・整備を徹底し、作業効率を高める	通年
	現場	分別、リサイクル、再資源化の推進	通年
3 水資源節約の推進	事務所	ストッパー付ホースの使用	通年
	事務所	手洗い、洗い物における日常的節水意識の周知	通年
4 グリーン購入の推進	事務所	事務用品購入時は、対象品目の有無を調査する	通年
	共通	対象品目がある場合は出来るだけ購入を進め、品目数を記録する	通年
5 工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進	現場	分かりやすい書類の作成	通年
	現場	創意工夫の実施	通年
	現場	発注者、地域の方々とのコミュニケーションUP	通年
	現場	丁寧な施工で出来栄えのよい工事の実施	通年

VIII. 環境経営目標の実績

- ・2023年度の環境経営目標達成状況は以下のとおりであり、ほとんどの項目で目標を達成することができました。

環境経営目標	サイト 区分	単位	2023年度			
			目標	実績	目標 達成率 ※1	目標 達成判定 ※2
1. 二酸化炭素排出量の削減	共通	kg-CO ₂	97,203	76,476	127%	◎
(1)電力使用量の削減	事務所	kWh	19,628	16,148	122%	◎
(2)ガソリン使用量の削減	共通	L	9,021	8,175	110%	○
(3)軽油使用量の削減	共通	L	26,043	19,497	134%	◎
2.廃棄物排出量の削減						
(1)一般廃棄物排出量の削減	共通	kg	151	98	154%	◎
(2)産業廃棄物の リサイクル率向上	現場	%	98	99	101%	○
3 水資源節約の推進	事務所	m ³	水使用量を把握した上で節水に努める		—	○
4 グリーン購入の推進	共通	—	物品の品質等を把握した上でグリーン購入に努める		—	○
5 工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進	点数	点	80	78	98%	△

備考) ※1 目標達成率の計算 目標÷実績×100

※2 目標達成判定区分 ◎：目標達成率≧120% ○：100%≦達成率<120% △：80%≦達成率<100%

×：達成率<80% —：判定不可

IX. 環境経営計画の取組結果とその評価

- ・2023年度の環境経営計画の実施状況は以下のとおりであり、設定したほとんどの項目で取組が実施でき、良好な結果となっています。

1.二酸化炭素排出量の削減

環境経営目標項目	達成状況	達成手段(活動項目)	取組の実施状況	評価
(1)電力使用量の削減	◎	空調温度管理の実施（室内温度：夏季26度、冬季20度） エアコンのフィルターの定期的な清掃 未使用時の室内消灯	◎ ○ ◎	<現状> 電力・ガソリン・軽油使用量すべてにおいてよく活動できてり、目標も達成できた。 <今後> 活動継続、更なる目標達成を目指す。
(2)ガソリン使用量の削減	○	アイドリング・ストップを励行する 急発進・急加速・急減速の禁止 走行ルート of 適切化 車間距離を保つ	○ ○ ○ ○	
(3)軽油使用量の削減	◎	旋回角度を小さくする（BH） エンジン回転は可能な範囲で低めにする（BH、DT） アイドリング・ストップを励行する（BH、DT） 一定速度の走行をする（DT） シフトアップは早め、シフトダウンは遅めにする（DT） 急発進・急加速・急減速の禁止（DT） 走行ルート of 適切化（DT） 不要な荷物は積まない（DT） 車間距離を保つ（DT）	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	

備考）目標の達成状況判定区分：P6参照

取組の実施状況判定区分：◎十分実施できた（定着） ○実施できた △概ね実施できた ×実施できなかった ー判定不可

2.廃棄物排出量の削減

環境経営目標項目	達成状況	達成手段(活動項目)	取組の実施状況	評価
(1)一般廃棄物排出量の削減	◎	裏紙の使用、両面印刷の推進 分別、リサイクル、再資源化の推進	◎ ◎	<現状>目標達成、活動継続ともにできた。 <今後>活動継続に努める。
(2)産業廃棄物のリサイクル率向上	○	土場の保守・点検・整備を徹底し、作業効率を高める 分別、リサイクル、再資源化の推進	◎ ◎	

3.水使用量の削減

環境経営目標項目	達成状況	達成手段(活動項目)	取組の実施状況	評価
3.水使用量の削減	○	ストッパー付ホースの使用 手洗い、洗い物における日常的節水意識の周知	◎ ◎	<現状>節水活動できた。 <今後>水使用量の把握、記録、活動を継続する。

4.グリーン購入の推進

環境経営目標項目	達成状況	達成手段(活動項目)	取組の実施状況	評価
4.グリーン購入の推進	○	事務用品購入時は、対象品目の有無を調査する	◎	<現状>よく取り組んだ。 <今後>引続きグリーン購入を推進する。
		対象品目がある場合は出来るだけ購入を進め、品目数を記録する	◎	

5.工事点数の良（80点以上）獲得の推進

環境目標項目	達成状況	達成手段(活動項目)	取組の実施状況	評価
5.工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進	△	分かりやすい書類の作成	◎	<現状>情報共有等よくできた。 <今後>発注者の要望を第一に、目標達成を目指し活動する。
		創意工夫の実施	◎	
		発注者、地域の方々とのコミュニケーションUP	◎	
		丁寧な施工で出来栄のよい工事の実施	◎	

X. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

- ・当社の事業活動に適用される環境関連法規等は、以下のとおりです。
- ・2023年度の事業活動において、遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。
- ・また、関係機関等からの違反の指摘、利害関係者からの訴訟もありませんでした。

適用される主な環境関係法規	遵守事項	遵守判定
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物の運搬・保管・排出の管理 産業廃棄物管理票の交付 交付状況報告書の提出	○
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律	対象建設工事の届け出 再資源化の実施	○
オフロード法	特定特殊自動車の使用の制限	○
フロン排出抑制法	業務用エアコンの簡易定期点検 第一種特定製品の点検	○

備考) 遵守判定区分 ○：遵守できた ×：遵守できなかった -：該当事項なし

XI-1. 今後の取組内容 - 環境経営目標 -

- ・以上の2023年度の環境経営計画の取組結果とその評価を踏まえた上での次年度の環境経営目標及び環境経営計画を以下に記します。
- ・今後も全社でこの取組を継続・発展させ、環境経営目標の全項目達成を目指していきます。

環境経営目標（2024年度）

環境経営目標	サト区分	単位	基準年度	目標
			2019年度-2021年度 【平均値】	2024年度 【2%削減】
			2019年6月 ～2022年5月	2024年6月 ～2025年5月
1. 二酸化炭素排出量の削減	共通	kg-CO ₂	98,180	96,222
(1) 電力使用量の削減	事務所	kWh	19,819	19,429
(2) ガソリン使用量の削減	共通	L	9,106	8,930
(3) 軽油使用量の削減	共通	L	26,301	25,780
2. 廃棄物排出量の削減				
(1) 一般廃棄物排出量の削減	共通	kg	152	149
(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上	現場	%	98	98
3. 水使用量の削減	共通	m ³	水使用量を把握した上での節水活動に努める	
4. グリーン購入の推進	共通	-	物品の品質等を把握した上でのグリーン購入に努める	
5. 工事点数の「良」（80点以上）獲得の推進	現場	点	80	80

XI-2. 今後の取組内容 - 環境経営計画 -

環境経営目標項目		サイト 区分	達成手段(活動項目)	スケジュール
1.二酸化炭素排出量の削減				
(1)電力使用量の削減	事務所		空調温度管理の実施（室内温度：夏季26度、冬季20度）	冷房期：7～9月 暖房期：11～3月
	事務所		エアコンのフィルターの定期的な清掃	通年
	事務所		未使用時の室内消灯	エアコン使用時は 毎月実施
(2)ガソリン使用量の削減	共通		アイドリング・ストップを励行する	通年
	共通		急発進・急加速・急減速の禁止	通年
	共通		走行ルート of 適切化	通年
	共通		車間距離を保つ	通年
(3)軽油使用量の削減	現場		旋回角度を小さくする（BH）	通年
	現場		エンジン回転は可能な範囲で低めにする（BH、DT）	通年
	現場		アイドリング・ストップを励行する（BH、DT）	通年
	現場		一定速度の走行をする（DT）	通年
	現場		シフトアップは早め、シフトダウンは遅めにする（DT）	通年
	現場		急発進・急加速・急減速の禁止（DT）	通年
	現場		走行ルート of 適切化（DT）	通年
	現場		不要な荷物は積まない（DT）	通年
	現場		車間距離を保つ（DT）	通年
2.廃棄物排出量の削減				
(1)一般廃棄物排出量の削減	事務所		裏紙の使用、両面印刷の推進	通年
	事務所		分別、リサイクル、再資源化の推進	通年
(2)産業廃棄物の リサイクル率向上	現場		土場の保守・点検・整備を徹底し、作業効率を高める	通年
	現場		分別、リサイクル、再資源化の推進	通年
3 水資源節約の推進	事務所		ストッパー付ホースの使用	通年
	事務所		手洗い、洗い物における日常的節水意識の周知	通年
4 グリーン購入の推進	事務所		事務用品購入時は、対象品目の有無を調査する	通年
	共通		対象品目がある場合は出来るだけ購入を進め、品目数を記録する	通年
5 工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進	現場		分かりやすい書類の作成	通年
	現場		創意工夫の実施	通年
	現場		発注者、地域の方々とのコミュニケーションUP	通年
	現場		丁寧な施工で出来栄のよい工事の実施	通年

XII. 代表者による取組状況の全体評価と見直しの結果

- ・2023年度の環境経営目標に沿って、代表者による＜取組の全体評価＞と＜次年度に向けての見直し＞を行いました。

＜取組状況の全体評価＞

1 二酸化炭素排出量の削減

(1) 電力使用量の削減



120%以上の達成率で達成できました。1/4半期ごとの判定でも目標を達成できていて非常に良かったです！！

(2) ガソリン使用量の削減



目標達成できました。



1/4半期では94%と未達成でした。豪雨災害の緊急出動があり、機械多動期だったものが原因として見られます。

(3) 軽油使用量の削減



120%以上の達成率で達成できました。



5月に68%と非常に低い達成率となりました。原因としては、各現場による重機稼働が重なったものと見られます。

2 廃棄物排出量の削減

(1) 一般廃棄物排出量の削減



可燃ゴミ削減に向けて再資源化率の増加に努めました。

(2) 産業廃棄物のリサイクル率向上



99%の達成率でした。活動も継続できており、良い結果となりました。

3 水使用量の削減



節水活動に努め、水使用量の記録を継続できました。

4 グリーン購入の推進



購入時はグリーンマークを意識し購入検討できております。

5 工事点数の「良」（80点以上）の獲得を推進



平均点78点と80点（良評価）には及びませんでしたが、社員同士のコミュニケーション、発注者や住民の方々との信頼関係がよくできており、次年度に繋がる活動がよくできたと思います。

＜次年度に向けての見直し指示＞

経営方針、経営目標、経営計画、実施体制について
変更の必要性はなく、現行を継続致します。